

展示会プロジェクト 「TEAM ACCESS FRONTIER 2026」発足

この度、11月18日から11月20日まで東京ビッグサイトで開催される「ビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPO2026」の出展に向けて、展示会プロジェクト「TEAM ACCESS FRONTIER 2026」を発足しました。

本プロジェクトは、本社の若手社員有志によって構成されています。プロジェクト名にある「FRONTIER」には「未開の地」「最先端」「新領域」といった意味があります。展示会を通じて、アクセスが取り組む清掃業界の「FRONTIER」を広く発信してまいります。

今回私たちが掲げる展示会テーマは「ワンストップで施設管理の未来を創る」です。ここでいうワンストップとは、アクセスが提供する清掃・設備・警備・資源循環などの複数のサービスを一体的に提供することを意味します。

さらに、研究開発への取り組みや技術力を発信することで、アクセスの企業活動や将来性に対する理解と信頼を深めていただける展示をめざし、メンバー一丸となってプロジェクトを進めてまいります。



TEAM ACCESS
FRONTIER 2026 事務局
中尾部長



TEAM ACCESS FRONTIER 2026 メンバー

新しいモビリティを働き方の進化へ「UNI-ONE」の試験導入

UNI-ONEの特徴



- ①目線が普段と変わらない
ほぼ立っている人と同じ目線でコミュニケーションしやすい
- ②両手が自由
資機材を持ったまま移動できる
- ③乗り手を選ばない
多様な利用者が使いやすい設計
- ④高い安定性と転倒対応
万一の際は自動でローポジションになり転倒を防ぐ

ローポジション



安心して乗降可能

上昇
下降

ハイポジション



体重移動で操作

UNI-ONEは、本田技研工業株式会社が開発したハンズフリーで移動できる次世代モビリティです。重心移動によって前後左右に移動できるため、着座姿勢を保ちながら清掃資機材を扱うことが可能です。

鉄道博物館事業所では、このUNI-ONEを清掃業務に活用できるかを検証するため、8月1日から試験導入しています。作業の負担軽減をめざして、新たな作業の進め方の可能性を探っていきます。



技術開発課
折井課員

■活用イメージ（清掃業務での使用例）

